

目次

口 絵
はじめに

第一章 大和売薬の歴史的基礎

1 古代の医薬……………1

呪術から薬草へ 医薬の神々 薬法の伝来 薬物木簡の出土
律令のもとで 行基と鑑真 正倉院の薬物 延喜式にみえる大和の雑薬
大同類聚方 医心方

2 民間薬の普及……………14

加持祈禱から民間薬へ 薬としての茶 叡尊らの治療 医薬調剤古抄
多聞院日記にみられる薬 多聞院の製薬 薬屋と薬価
南蛮医学のアルメイダ

第二章 大和売薬の成立と展開

1 近世の医薬と大和の売薬……………27

近世の医学と薬学 売薬の発達 大和の売薬 陀羅尼助 豊心丹

2 薬種生産……………38

植村政勝の採薬行 下市の薬園と森野薬園 薬種生産 薬種の生産状況

3 売薬業の展開と配置売薬……………46

売薬業の展開 合薬 薬種屋合薬屋株仲間 仲間規約 配置売薬 得意帳
配置行商をめぐって 富山売薬との協定

第三章 明治維新と大和売薬

1 政府の薬業政策……………65

はじめはイギリス式 ドイツ医薬へ 漢方を排除 漢方の抵抗

2 売薬の需要……………68

薬種流通の変化 薬業制度の改変 大和売薬の優位 文部省の鑑札から内務省へ
文明開化のなかで 売薬規則の制定 つづく各規則の施行 はげしい免許申請と廃業

第四章 大和売薬の近代化

1 売薬行政とその思想……………83

在来的売薬への不信 売薬業界の反論 産業政策からの疎外 無効無害から有効無害へ
「売薬法」の成立 検査基準への要望 医師団との対立

2 売薬課税の推移……………96

苛酷な売薬印紙税 課税の背景と業界の反論 きびしい脱税取り締り
農工商いずれもほとんど衰退を極めたり 売薬税の改正 売薬営業税の廃止と「営業税」

営業税・売薬税の廃止 営業収益税と売薬配置税

3 売薬生産の発展……………113

税収からみた成長 製剤方数と業者数 新規参入増産

地域構造と生産の薬種別構成 商況の推移

4 生産・販売の機構とその変化……………124

会社組織の成長と関連産業の発展 請け売りの機能 海外市場

行商者の地位と役割 同業組合の行商行為規制 生薬と配置薬

5 大和売薬の同業組織……………138

売薬営業者組合と生薬業組合 大和売薬同業組合の設立 同業組合の業績

第五章 恐慌から戦時下への大和売薬

1 昭和恐慌下の大和売薬……………145

売薬製造への影響 売薬営業者とその業況 売薬配置税と大和売薬同業組合

2 恐慌からの脱出策……………162

恐慌期の販売事情 配置員の養成と業者の政界進出 売薬試験場の設立

博覧会などへの出品 大和売薬の海外販路拡大

3 戦時体制期の大和売薬……………173

売薬製造・営業者の推移 業況と業界の問題点 奈良県薬学商業学校

4 大和売薬の販路拡大と全購連売薬……………193

最寄会の設置 北海道への回商と同最寄連合会 全購連などの売薬対策

国民健康保険法反対

5 売薬の経済統制……………211

正価販売 戦時下の売薬業 大和売薬工業組合の設立

6 海外売薬の消長……………224

満蒙輸出組合の設立 協和製薬会社の設立 協和製薬会社の挫折

第六章 戦時下の大和売薬

1 企業整備……………233

新体制への動き 生産部門の整理 販売部門の整理
本舗売薬について 業界懇談会と調査

2 売薬営業整備委員会の発足……………239

企業整備委員会 第一回整備委員会 第二回整備委員会 第三回整備委員会
第四回整備委員会 第五回整備委員会 第六回整備委員会

3 整備計画進展せず……………246

計画の遅れ 商業組合の設立 第一分科委員会の設立

4 新会社設立準備……………249

新会社の設立決定 統制の指令 共助施設 共助施設の取扱い

5 設立された新企業体……………254

新企業体 共助金の貸付 新会社の製造許可 家庭薬処方整理

6	統制廃止の動き	260
	終戦直前の売薬	
	売薬新配給機構	
	統制廃止後の措置	

第七章 第二次世界大戦後の薬業

1	戦後の再出発	265
	企業整備令の廃止	
	一戸一袋制	
	新円への変更	
	貿易への努力	
	薬業団体の組織化	
	昭和天皇の視察	
	奈良県の薬業対策	
2	成長時代の薬業	272
	医薬品生産額	
	配置従事者数	
	昭和三四年の県の振興対策	
	自動包装機械化に成功	
	中近東の市場調査	
	近代化資金対象業種に	
3	建設時代の薬業	280
	アンブルかぜ薬事件	
	奈良県薬業会館の竣工	
	薬事指導所のおいたちと視状	
	製薬組合・共同試験室の建設	
4	新時代への薬業	285
	禁止薬回収総点検	
	ピリン系の解熱・鎮痛成分使用禁止	
	GMPについて	
	GMPと県の指導	
	GMPと県製薬協組	
	GMPと薬業界の変動と活動	
	全国配置家庭薬工業組合連合会の創立	
5	奈良の薬業教育	295
	県立御所工業の薬学科	
	県立医専に薬業専門部設置の協議	
	奈良のくすり宣伝	
	婦人配置員の募集	

6 産地診断と調査報告……………298

昭和三三年の産地診断 昭和三四年の産地診断 昭和三五年の調査報告

昭和三七年の調査報告 配置婦人部の結成と期待 奈良生協・配置薬販売に進出

農協・家庭薬配置販売に進出 青年部会のあゆみ

・戦後の奈良県配置薬関係文献

・奈良県薬業略年表

・あとがき